

洪水ハザード情報について..2

新しい基準での「浸水深ランクの目安」と、浸水が想定される場合の「ご家庭での行動指針」をお知らせします。

5

浸水深ランクの目安

水防法「改正前」と「改正後」の浸水深ランクの目安をお知らせします。ただし、建物や土地の状況により浸水による被害は異なります。

改正前までの目安		改正後の内容を基に、湯沢市で「垂直避難」を基準に設定した目安	
5.0m以上の区域	2階の軒下まで浸水する程度	3.0m以上の区域	2階の軒下まで浸水する程度
2.0~5.0m未満の区域	1階の軒下まで浸水する程度	1.0~3.0m未満の区域	1階の全てが浸水する程度
1.0~2.0m未満の区域	大人の腰まで浸水する程度	0.5~1.0m未満の区域	大人の膝まで浸水する程度
0.5~1.0m未満の区域	大人の膝まで浸水する程度	0~0.5m未満の区域	大人の膝まで浸水する程度
0~0.5m未満の区域	大人の膝まで浸水する程度		

※8頁に「単独図」で掲載

※21頁からの「詳細図」に掲載

6

ご家庭での行動指針 ~ 行動判定フロー ~

浸水が浅い場合でも、浸水後の避難は危険です。日頃から十分な備えを心掛けてください。

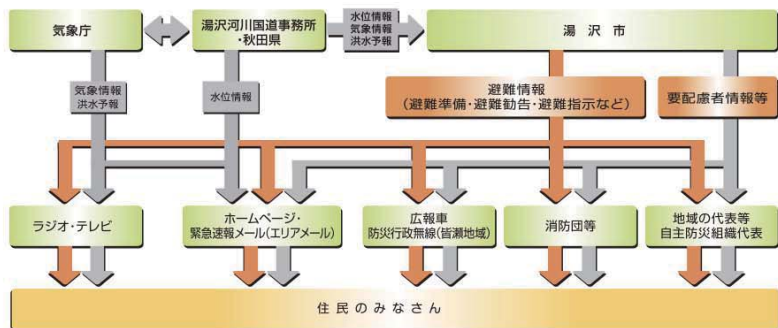
家庭での行動判定指針	
家屋に対する浸水深イメージ	浸水後の行動指針
5.0m	<p>○立ち退き避難</p> <p>3.0m以上の浸水想定エリア場合、家屋の2階以上も浸水することが想定されますので、浸水前段階を含め、早めの避難を心掛けてください。</p>
3.0m	<p>○立ち退き避難 △自宅待機(垂直避難)</p> <p>自宅待機(垂直避難)の場合、浸水が長時間に及ぶ場合も想定されますので、日頃から十分な備えを心掛けてください。</p>
2.0m	<p>△自宅待機(垂直避難)</p> <p>自宅待機(垂直避難)の場合、浸水が長時間に及ぶ場合も想定されますので、日頃から十分な備えを心掛けてください。</p>
1.0m	<p>○立ち退き避難 ○自宅待機(垂直避難)</p> <p>浸水が浅い場合でも、浸水後の避難は危険です。日頃から十分な備えを心掛けてください。</p>
0.5m	<p>○自宅待機(垂直避難)</p> <p>浸水が浅い場合でも、浸水後の避難は危険です。日頃から十分な備えを心掛けてください。</p>

※地図上で着色のある浸水想定区域にお住まいの方。地図上で着色のない区域でも河川や水路の近くなど浸水の恐れがある場所にお住の方は、日頃より浸水があった場合を想定し、自ら対応や備えをおこなってください。

7

洪水情報の伝達ルート(土砂災害情報も同じ)

気象の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。



※情報がなくても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。

役内川浸水域マップ(改正前)

